

*English follows Japanese.

番号	項目	内容
1	奨学金No.	24
2	奨学金名称	JEES・石橋財団奨学金（前期）
3	応募方法	学内選考なし
4	支給額	月額 15 万円
5	支給期間	2026年4月～最長2年。ただし、2026年5月以降に入学する場合は、入学月から最長2年間とする。 ※研究生として2年間未満の支給が決定した者が、支給終了後、同一大学の修士（博士前期）課程又は博士（博士後期）課程へ進学する場合には、支給期間を通算して2年間を上限に延長することができる。
6	応募資格・条件	<ul style="list-style-type: none"> ・原則として2026年度内に、大学の修士（博士前期）課程又は博士（博士後期）課程(大学院研究生を含む)に入学するため、海外から出願する私費外国人留学生。また、日本に在留する間の在留資格は『留学』とする。 ・美術史を専攻する者。 ・留学の目的又は計画が明確で、修学の効果が期待できる者。 ・経済的援助を必要とする者。 ・心身共に健康であり、かつ品行方正で学業成績が優秀な者。 ・入学予定の大学の長の推薦を受けることができる者。
7	奨学生の義務	<ul style="list-style-type: none"> ・奨学生は、本奨学金支給期間中の学習・研究状況について、学位論文又は研究内容の概要及び学業成績証明書と共に、毎年度末及び奨学金受給終了後1か月以内に、所定の様式により、大学を通じて本協会に提出すること。 ・奨学生は、学籍に変更があった場合、所定の様式により大学を通じて本協会に遅滞なく届け出ること。 ・本奨学金を受給した者は、自身の進路について、大学卒業時に所定の様式により、大学を通じて本協会に報告すること。 ・奨学生は、本協会又は寄付者の要請に応じ、アンケート等への回答、及び懇親会(日本語で実施される成果報告会)への参加をすること。
8	日本語能力	<ul style="list-style-type: none"> ・懇親会(日本語で実施される成果報告会)の参加が必要です。 ・申請書類は日本語以外での記入(Excelのデータ入力)が可能ですが、日本語訳の添付が必要です。 ・授業等に適応することができる日本語能力を有している者。
9	応募期間	2026年1月28日（水）～2月25日（水）17時
10	学内選考結果発表	学内選考がない
11	学内選考で提出する書類	学内選考がないため、学内選考用の提出書類はありません。
12	財団へ提出する書類	(留学課へ提出する書類になります。) (1) 願書(様式1)(所定の様式) (2) 推薦書(様式2)(所定の様式) (1)(2)いずれもExcelファイルへのデータ入力となります。
13	備考	<ul style="list-style-type: none"> ・美術史には、絵画や彫刻だけでなく、建築史や写真史等も広く含まれます。 ・応募を希望する者は、次のメールアドレスに連絡してください。応募希望者にメールにて財団へ提出する書類を送ります。 intlr-pscholar@jimu.kyushu-u.ac.jp

(This document is translated using the AI translator DeepL.)

No.	Item	Contents
1	Scholarship No.	24
2	Name of Scholarship	JEES Ishibashi Foundation Scholarship (Spring)
3	Application Process	Application via University (No Campus Selection)
4	Stipends	¥150,000 / month
5	Duration	From April 2026 for up to a maximum of two years. However, for those who enroll in May 2026 or later, the scholarship period shall be up to two years starting from the month of enrollment. If a recipient who is approved to receive the scholarship for less than two years as a research student advances, after the end of the scholarship period, to a master's program (doctoral first stage) or a doctoral program (doctoral latter stage) at the same university, the scholarship period may be extended, with the total combined period not exceeding two years.
6	Eligibilities and Disbursement Requirements	<ul style="list-style-type: none"> • In principle, privately-financed international students applying from abroad to enroll in a master's or doctoral program (including graduate research students) at a university within the fiscal year 2026. The status of residence during the period of stay in Japan shall be "student". • Art History majors. • Those who have a clear purpose or plan for studying abroad, and whose study is expected to be effective. • Applicants who need financial support. • Applicants must be in good health, both physically and mentally, and have good conduct and excellent academic records. • Applicants must be able to obtain a recommendation from the head of the university they plan to enter.
7	Scholar Obligations	<ul style="list-style-type: none"> • Scholarship recipients must submit to JEES through their university, in the prescribed form, a summary of their studies and research during the scholarship period, together with a thesis or research project and academic transcripts, at the end of each academic year and within one month of the end of the scholarship period. • Scholarship recipients must notify JEES of any changes in their academic records without delay using the prescribed form through their university. • Scholarship recipients must report to JEES through their university on their future career path on the prescribed form upon graduation from their university. • Scholarship recipients must respond to questionnaires, etc., and participate in social gatherings (results reporting meetings held in Japanese) at the request of JEES or donors.
8	Japanese Language Proficiency	<ul style="list-style-type: none"> • Participation in social gatherings (results reporting session conducted in Japanese) is required. • Application forms can be filled out in languages other than Japanese (Excel data), but a Japanese translation must be attached. • The applicants are required to have the Japanese language skill as you can understand the class in Japanese.
9	Application Submission Period	From Wednesday, January 28, 2026, to Wednesday, February 25, 2026, 5:00 p.m.
10	On-campus selection results	No, as there is no on-campus selection process.
11	Required Documents (for on-Campus Selection)	Since there is no on-campus selection process, there are no documents to be submitted for on-campus selection.
12	Required Documents (for Foundation)	(These are the documents to be submitted to International Student Exchange Division.) (1) Application form (Form 1) (prescribed form) (2) Recommendation letter from the supervisor (Form 2) (prescribed form) Both No.1 and 2 involve data entry into Excel files.
13	Comment	<ul style="list-style-type: none"> • "Art History" widely includes history of Architecture and Photography as well as the one of painting and sculpture etc.. • Scholarship applicants should contact us at the email address below. We will send the documents to be submitted to the Foundation by e-mail to those who wish to apply. intl-rscholar@jimu.kyushu-u.ac.jp

2026年度 JEES・石橋財団奨学金(前期・受入)募集・推薦要項

公益財団法人日本国際教育支援協会(以下「本協会」という。)では、公益財団法人石橋財団(理事長石橋 寛氏)のご支援により、「石橋財団奨学金(前期・受入)」(以下「本奨学金」という。)の奨学生を下記により募集する。

記

1 目的

本奨学金は、美術史を専攻する優秀な学生に対して奨学金を支給することにより、その分野でグローバルに活躍できる人材の育成に寄与すると共に、海外に留学する日本人学生と、海外から日本の大学に留学する外国人学生の双方を支援することにより、美術史の分野における日本と海外の大学間の相互交流を促進することを目的とする。

2 本奨学金の寄付者及び寄付の趣旨

本奨学金の寄付者である公益財団法人石橋財団(以下「寄付者」という。)は、美術・教育等の助成・振興を図り、文化の向上発展に寄与することを目的に、1956年(昭和31年)に設立されて以来、美術館の維持・運営、教育・文化事業・芸術活動・国際教育等に取り組む学校や団体等の活動の支援を行ってきた。21世紀に入ってからは、進取性・人間性・国際性をテーマに新たな活動を展開し、その一環として、2011年に奨学金事業を開始し、美術史の分野でグローバルに活躍できる人材を育成することを趣旨として資金を提供された。

3 応募資格

次の各号の全てに該当する者。

(1) 原則として2026年度内に、本協会が指定する日本国内の大学(以下「大学」という。)の修士(博士前期)課程又は博士(博士後期)課程(大学院研究生を含む)に入学するため、海外から出願する私費外国人留学生(※)。また、日本に在留する間の在留資格は『留学』とする。

※ただし、入学時期に合わせて新規に渡日し、出願が渡日後になる場合は応募可とする。

- (2) 美術史を専攻する者。
- (3) 留学の目的又は計画が明確で、修学の効果が期待できる者。
- (4) 経済的援助を必要とする者。
- (5) 心身共に健康であり、かつ品行方正で学業成績が優秀な者。
- (6) 入学予定の大学の長の推薦を受けることができる者。

4 採用人数

5名程度

5 支給内容

月額奨学金 150,000円

6 支給期間

2026年4月から最長2年間

ただし、2026年5月以降に入学する場合は、入学月から最長2年間とする。

※研究生として2年間未満の支給が決定した者が、支給終了後、同一大学の修士(博士前期)課程又は博士(博士後期)課程へ進学する場合には、支給期間を通算して2年間を上限に延長することができる。

7 応募・推薦方法

- (1) 本奨学金を受けようとする者は、所定の様式による願書を、大学を通じて、本協会理事長(以下「理事長」という。)に提出するものとする。
- (2) 大学の長は、3 に挙げる応募資格に該当する者について、8 に挙げる応募・推薦書類を理事長に提出するものとする。
- (3) 大学の長は、本奨学金の推薦と同時に、日本から海外へ留学する学生(派遣学生)を推薦する場合、8(3)に挙げる交流計画申請書を理事長に提出するものとする。なお、派遣学生の募集・推薦要項については、別途示す。

8 応募・推薦書類及び提出方法

	提出物	提出方法	ファイル形式	備考
(1)	願書(様式 1)	クラウドストレージサービスBoxの指定URLへアップロード(※)	Excel	日本語以外で書かれたものについては和訳を添付すること。
(2)	推薦書(様式 2)		Excel	推薦理由は、指導予定の教官等が記入すること。
(3)	交流計画申請書(様式 3)		Excel	同時に派遣学生を推薦する場合のみ提出。

※提出方法の詳細については別紙にて案内。

9 応募・推薦書類の提出期限

2026年4月3日(金)を提出期限とする。なお、締切期日を過ぎた場合や提出書類に不備のある場合は、受理しない。また、提出書類は一切返却しない。

10 選考方法及び結果の通知

理事長は、7(2)により推薦された者について選考を行い、奨学生を決定する。結果は、2026年5月下旬を目途に大学を通じて通知する。なお、採否に関する照会には応じない。

また、選考にあたっては、派遣と受入を一組とした推薦を優先することとする。

11 支給方法

奨学金は、大学の長からの請求に基づき、本協会より交付期ごとに大学へ振込送金する。大学は1か月ごとに奨学生の受給資格(出席状況、単位取得状況、学籍状況等)の有無を確認の上、原則として1か月分ずつ奨学生へ支給する。なお、奨学生への支給に係る費用(振込手数料等)は大学負担とする。

12 奨学生の義務

- (1) 奨学生は、本奨学金支給期間中の学習・研究状況について、学位論文又は研究内容の概要及び学業成績証明書と共に、毎年度末及び奨学金受給終了後1か月以内に、所定の様式により、大学を通じて本協会に報告すること。
- (2) 奨学生は、学籍に変更があった場合、大学を通じて本協会へ速やかに届け出ること。
- (3) 本奨学金を受給した者は、自身の進路について、大学卒業時に所定の様式により大学を通じて本協会に報告すること。
- (4) 奨学生は、本協会又は寄付者の要請に応じ、アンケート等への回答及び懇親会(日本語で実施される成果報告会)への参加をすること。

13 本奨学金の支給の休止又は終了及び決定取消

- (1) 奨学生が大学を長期(1か月以上)欠席した場合は、本奨学金の支給を休止する。なお、休止事由が止んで、所定の様式により奨学金支給の再開を願い出たときは、6 に記載した奨学金の支給期間内において奨学金の支給を再開することがある。ただし、6 の支給期間は延長しない。
- (2) 奨学生が、次の①から⑤のいずれかに該当した場合には、本奨学金の支給を終了する。
 - ① 大学を卒業、退学、除籍、停学、休学又は留年(相当すると認められる場合も含む。)した場合。
 - ② 本奨学金の支給の休止期間が6か月を超えた場合。

- ③ 本奨学金奨学生の義務を怠った場合。
 - ④ 募集・推薦要項の定める事項に該当しなくなった場合。
 - ⑤ その他奨学生として相応しくないと判断された場合。
- (3) 応募・推薦書類の記載事項に虚偽のある場合は、本奨学金の支給決定を取り消す。
- (4) 寄付者からの寄付が滞った場合、事前通知の上、本奨学金の支給を休止又は終了する。

14 その他(注意事項等)

- (1) 奨学生は、原則として、本奨学金の返還義務を負わない。ただし、13(1)から(3)に挙げる事項に該当する場合、既に支給している奨学金の返還を求める場合がある。また、寄付者への入社その他の付帯義務を負うものではない。
- (2) 本奨学金採用決定(本奨学金採用決定通知を大学が受領した時点)前に他の奨学金の受給が決定した場合、大学を通じて本協会に速やかにその旨報告すること。また、本奨学金奨学生として採用された場合、他の奨学金を受給することを目的として、本奨学金を辞退することはできない。
- (3) 本奨学金は他の併給を認める奨学金の受給を妨げない。
- (4) 過去本奨学金を受給した者の応募を妨げない。ただし、再度採用された場合の奨学金支給期間は、過去の支給期間とあわせて最長2年間とする。
- (5) 本協会の奨学金事業における標準修業年限は、原則学士課程4年、修士(博士前期)課程2年、博士(博士後期)課程3年とし、この期間のうち6に挙げる支給期間を支給対象とする。長期履修学生についても、これに相当する期間を支給対象とする。ただし、医学部等この期間を超えて在学が必要な学部・研究科においては、大学が定める標準修業年限のうち6に挙げる支給期間を支給対象とする。

15 個人情報の取扱い

- (1) 個人情報の管理
本協会は、本奨学金に関連して取得した願書・報告書等に記載される全ての個人情報を本協会の個人情報保護方針に基づき、細心の注意のもと管理・利用・破棄する。また、15(2)①から⑤の目的で寄付者に開示・提供する場合を除き、あらかじめ本人の同意を得ないで、個人情報を他の第三者へ開示・提供しない。
- (2) 個人情報の利用目的
本協会は、本奨学金に関連して取得した個人情報を適切に管理し、下記以外の目的には利用しない。
- ① 本奨学金の奨学生選考のため。
 - ② 奨学金支給事務のため。
 - ③ 本奨学金懇親会の開催のため。
 - ④ 報告書、お礼状、近況報告等を事前に奨学生本人からの承諾を受けた上で、本協会及び寄付者のホームページ等において広報目的に利用するため。
 - ⑤ その他、本奨学金の運営・管理に必要な業務のため。
 - ⑥ 本協会実施の国際教育支援プログラムの案内や参加の際の連絡手段のため。
- (3) 個人情報の共同利用
本協会が、15(2)①から⑤の目的で寄付者に開示・提供する個人情報の項目は下記のとおり。
- ①奨学生募集時に取得する事項
 - ・ 願書に記載された事項
 - ・ 推薦書に記載された事項
 - ②奨学金受給期間中の状況確認のために取得する事項
 - ・ 学習状況報告書に記載された事項
 - ・ 学業成績証明書に記載された事項
 - ・ 留学中の様子がわかる写真
 - ③奨学金受給期間中及び奨学金受給終了後の交流継続のために取得する事項
 - ・ 奨学生の就職・進学先

【個人情報総括保護管理者】

公益財団法人 日本国際教育支援協会
〒153-8503 東京都目黒区駒場 4-5-29
専務理事 池田輝司

【代表者】

理事長 藤江陽子

以上